

Ⅱ. 後期基本計画

施策13

高齢者の 生きがいがづくりの推進

施策の目指す姿

高齢者が住み慣れた地域において、地域活動の担い手となり、生きがいを持って生き生きと暮らしています。

施策の現状

本市では、高齢者団体による生きがいがづくり活動を支援しています。老人クラブのほか、地域の高齢者を会員とし、高齢者の健康づくり、仲間づくりを目的とし、健康体操やレクリエーションなどの活動に取り組んでいる団体を支援するなど、高齢者の自主的な活動を通じて、生きがいがづくり活動への参加を促進しています。

高齢者は毎年増加し、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加するとともに地域とのつながりも薄れてきており、また、価値観の多様化などにもより、老人クラブへ加入する高齢者は、令和元年度では2,464人で、ピーク時の平成11年度の5,008人と比較すると51%減少しています。加入率を見ると、令和元年度では5.3%と、平成11年度の28%から大きく減少しています。なお、高齢者の就労の機会を提供するシルバー人材センターの会員数も減少傾向ですが、生産年齢人口の減少に伴い、社会の担い手としての高齢者の役割が高まっていることもあり、受託件数は増加傾向にあります。

施策の課題

- 高齢者の豊富な知識や経験を活かした地域での活動を促進し、高齢者の生きがいがづくりを促進することが必要です。

主なとりくみ

(1) 高齢者の生きがい活動の充実

- 高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って充実して暮らせるよう、健康づくり、仲間づくりなどを目的とする「生きがいがづくり事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業及び青空サロン事業）」への参加を促進します。
- 高齢者のニーズを的確に把握し、活動団体を支援することにより、高齢者の自主的な活動を促進します。

(2) 高齢者自らで地域社会を担うための支援

- 高齢者が持つ豊富な知識や経験を地域社会で活かすため、ボランティア活動や世代間交流の一層の活性化を図り、高齢者の社会参加を促進します。
- 高齢者自身が主たる担い手となって地域の課題を解決するための活動を行う団体を支援します。
- 高齢者が就労を通じて生きがいを得られるよう、シルバー人材センターの運営を支援します。

施策の成果目標

項目	実績値	目標値
	令和元年度	令和7年度
「生きがいづくり事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業及び青空サロン事業）」の参加者数	6,475人	6,864人

市民・団体・事業者などに期待する協働による行動

- 生きがい活動や生涯学習などへ参加しましょう。
- 高齢者の豊富な知識や経験を社会に還元しましょう。

関連するSDGsのゴール

- ゴール8 働きがいも経済成長も
- ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう

